

令和6年産 麦類技術情報 第5号

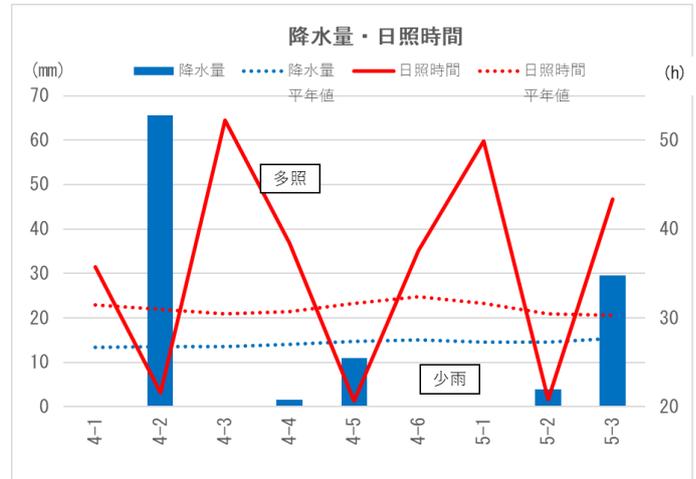
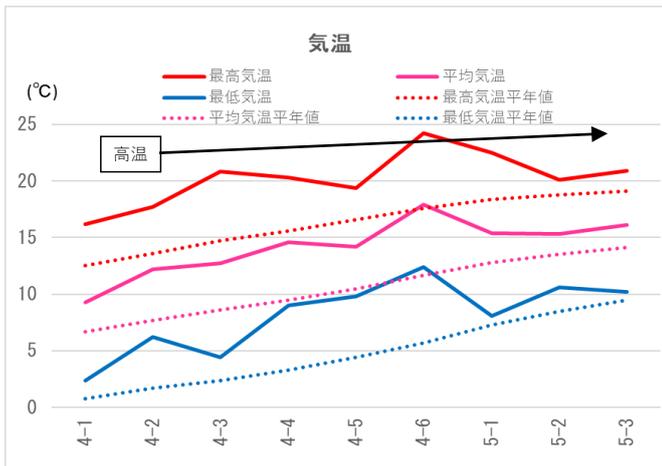
令和6年5月21日 宮城県美里農業改良普及センター

Tel 0229-32-3115 Fax 0229-32-2225

URL <https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



1 気象経過 (4月上旬～ アメダス鹿島台)



4月以降は高温が続いています。4月の月平均気温は、昨年更新した最高記録をさらに2.2℃上回る13.5℃でした。

降水量は4月第2半旬、5月第3半旬を除いて少なく、天気は数日の周期で変わったため、日照時間は多い半旬と少ない半旬を繰り返しました。

2 生育調査ほ生育概況

表1 小麦生育調査ほの生育ステージ

品種	地区名	区分	播種日	幼穂形成始期	出穂期	成熟期
シラネコムギ	大崎市 鹿島台	本年値	10月26日	3月19日	4月29日	6月13日～6月17日
		前年差/前年値	+12日	-5日	-1日	6月17日
		平年差/平年値	-20日	-6日	-8日	6月22日
夏黄金	涌谷町	本年値	10月23日	3月20日	4月28日	6月12日～6月16日
		前年差/前年値	-9日	-6日	-1日	6月17日
		平年差/平年値	-11日	-5日	-9日	6月21日

※ 平年値は過去5か年の平均。

※2 成熟期の見込みは、出穂期から成熟期までの目安日数(小麦:45日～50日)を加えて算出したもの。

4月の高温を受けて、出穂期は平年より1週間以上早まりました。1期作の大麦は4月15～20日頃、小麦は4月30日前後が管内の出穂ピークと見られます。

大麦の刈り取りは5月末ごろ、小麦の刈り取りは6月中旬ごろから始まると見られます。今後も暖かい予報ですので、刈り取りが早まってもいいように準備を進めておきましょう。

3 今後の管理について

麦類は収穫適期が短く、収穫時期は品質に大きく影響します。栽培管理の最後の仕上げとして、適期収穫に努めましょう！！

◇穂水分測定による小麦の成熟期判定

小麦では、出穂後 30 日頃から1日あたり約 1.5% ずつ穂の水分が減少するため、穂の重さから成熟期（水分約 40%）までの日数を予想できます。（図 2）

晴天時に穂を採取し、乾燥前後の重さから水分を算出

$$(測定水分\% - 40\%) \div 1.5\%/日 = 成熟期までの日数$$

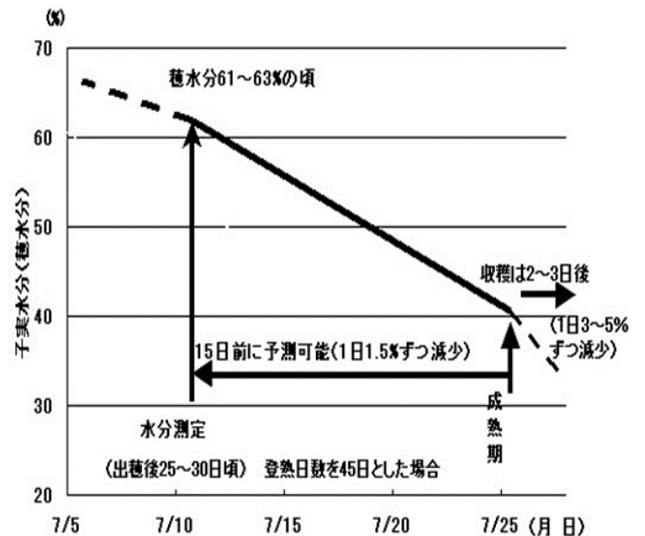
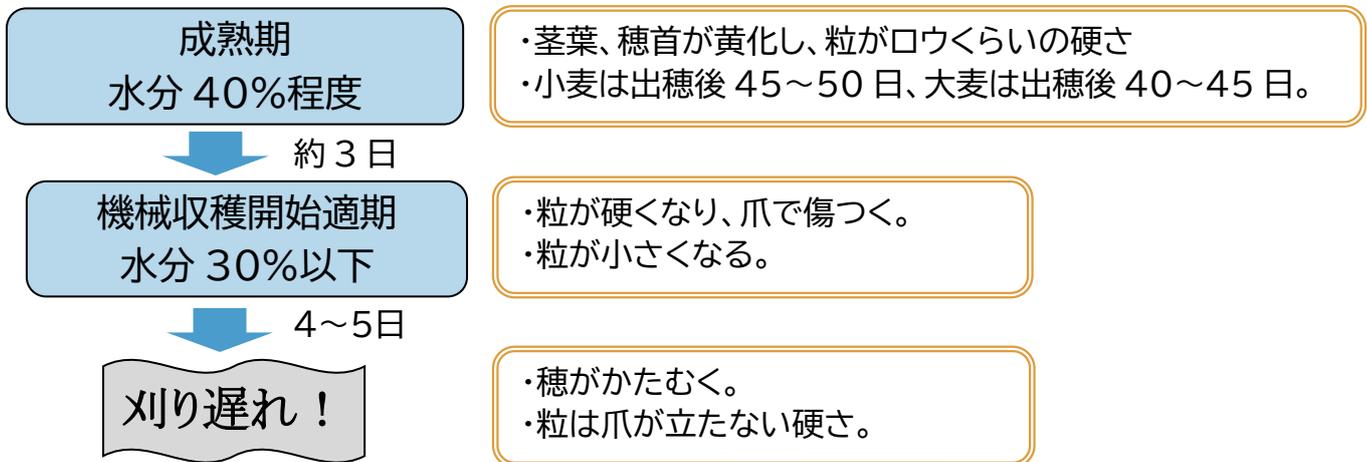


図2 成熟期および収穫適期予測の模式図(長濱一部改)

◇成熟期と刈取適期について

早刈りでは選別不良や損傷粒が発生し、刈り遅れでは倒伏や穂切れによる収量損失、赤かび粒や穂発芽粒などにより品質が低下します。

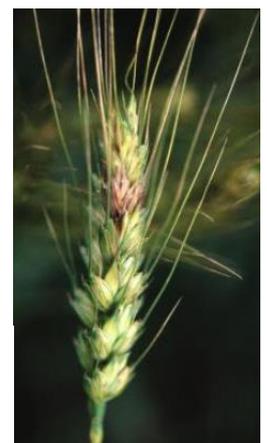
また、収穫期は梅雨時期であるため、作業日数の確保自体が困難でもあります。このため、麦類の収穫では、「成熟期」の判定と余裕をもった「作業計画」の策定が重要になります。



◇赤かび病について

赤かび病菌が産出するかび毒、デオキシニバレノール(DON)は人畜に中毒症状を引き起こすため、農産物検査規格での赤かび粒混入限度は「0.0%」と厳しく設定されています。

収穫前にほ場ごとの発生状況を確認し、発生が多いところでは刈り分けしましょう。また、「適期収穫」と「収穫後直ちに乾燥」することが赤かび病の蔓延を防ぐため重要です！



右図:赤かび病の穂 (宮城県、みやぎの大豆・麦類栽培技術指導指針より)